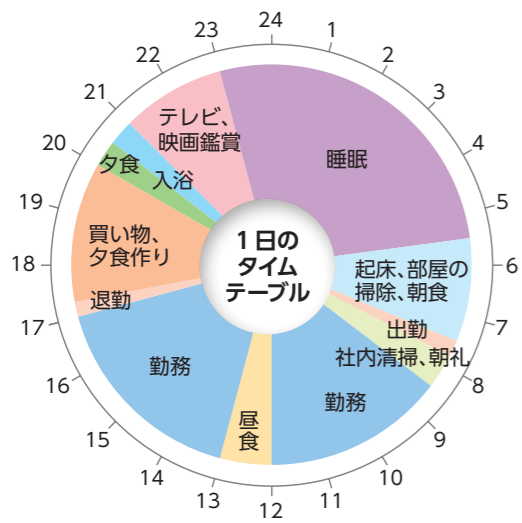


# 地域の生活と「おいしい」の担い手を支える。



**食** べることが好きな私。仕事帰りには同僚とよくご飯を食べに行きます。中でもお気に入り、隼人町見次に2年前にオープンした焼肉「しちりんや隼人店」。20台の駐車スペースがあるので、気軽に車で行くことができます。

いつも注文するのは「こてこてホルモン」です。プリプリのホルモン(小腸)は口に入れた瞬間にとろけます。甘辛いたれに漬け込まれているので、ご飯もついつい進みますね。そのほかにも、野菜と漬け込んだ壺漬けカレビや塩タン、冷麺などたくさんのメニューをタッチパネルで頼むことができます。2,500円からのコース(4人以上、2日前までの予約)もお薦めですよ。

イオン隼人国分店近くの分かりやすい場所なので、家族の食事や職場の飲み会でぜひ利用してみてください。



## しちりんや隼人店

- 場所=隼人町見次1256-1
- 営業時間=午前11時~午後2時30分(金・土・日曜)、午後5時30分~午前0時
- 店休日=不定休 ● 駐車場=20台
- ☎=しちりんや隼人店 ☎(43)5533



OFF

ON

**私** たちの生活に欠かせない「食」。それを作り出す農家を生産・生活・経営面から支援するのがJAグループです。その一つが霧島市に本所を置く、あいら農業協同組合(以下「JAあいら」)。霧島市、始良市、湧水町に41の事業所・工場などを構えます。3年前からは、地元の学校や行政と共同で六次産業化の商品開発にも力を入れており、林野庁の「森のめぐみプロジェクト」では2年連続の大賞に輝きました。地域貢献活動も盛んで、米作り体験などで子どもたちに農業を身近に感じてもらうたり、夏祭りなどの地域行事にも参加したりします。

「地元で就職したい」と心に決めていた瀬戸川さん。JAあいらに勤める知人から「結婚・出産しても働き続けられる職場」と聞いたことが就職の決め手。女性社員の育児休暇取得率は昨年度100%で、仕事に必要な資格の取得や職員間の親睦を深めるイベントには費用面でJAあいらの支援があり、福利厚生が充実しています。「職場も和気あいあい。土日の休みには同僚と遊びに行くなど、楽しい毎日です」と笑顔が輝きます。

採用6年目の瀬戸川静香さん(24)が働くのは、JAあいら隼人支店。貯金業務と年金の相談業務を担当します。顧客からのさまざまな相談に対して、より良い提案ができるように銀行業務検定の勉強に励む毎日。「多くの知識が必要とされる仕事。相談に来られたお客さまから『ありがとう』と言われたときは、いい提案ができたのかなとうれしい気持ちになります」と声を弾ませます。



# ミライ、ワーク・ワーク vol.26

霧島市にはたくさんの企業があり、そこで多くの若者が生き生きと働いています。このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。第26回はあいら農業協同組合の瀬戸川静香さん(24)です。就職を控える生徒や学生の皆さん、ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。

**あいら農業協同組合**  
 隼人町西光寺521-1 ☎0995(43)7300  
<https://ja-aira.or.jp/>

代表者: 代表理事組合長 中條 秀二	設立: 平成4年3月
資本金: 21億7,200万円	売上高: 89億円(平成30年度末)
従業員数(男/女): 399人(231人/168人)	育児休業取得者数(男/女): 8人(0人/8人、平成30年度)
平均年齢: 37歳	初任給: 14.5万~16万円
有給休暇の平均取得日数: 10日/年	採用実績(新卒/それ以外): 13人(13人/0人、平成30年度)
月平均残業時間: 5.5時間	勤務時間: 午前8時30分~午後5時(年間休日113日)

市ホームページで、このコーナーのバックナンバーをご覧いただけます。↓